

# リスニングを楽しく！やさしく！

前田 浩之

## リスニング力を鍛える4つのポイント

リスニングの指導をする場合、考慮に入れておくべき事が4つあります。

- 1) EFL環境ではリスニングの分量が足りない
- 2) 自分が発することができる音しか認識できない
- 3) なかなか思い出せない単語は使えない
- 4) 処理速度が追いつかず速い英語が聞き取れない

よって、この4つの対策がリスニング指導の柱になってきます。本稿ではこれらの問題点の対策を1つ1つ確認していきたいと思います。

対策1：リスニングクイズを導入しよう

対策2：リエゾンやストレスについて学ばせよう

対策3：クイックレスポンスを使おう

対策4：ポーズ付き音声や速音読を使おう

### 1. リスニングクイズを導入しよう

高校生の中にはリスニングに拒否反応を示す生徒も少なくありません。そのため、オーラルインターアクションなどを行おうとするときにも大きな障害になってしまいます。しかし、生徒の拒否反応を緩和し、英語で行う授業にもつなげられる方法があります。それがリスニングクイズです。

リスニングクイズとは、班対抗で音声で出されたクイズに答え、勝負させるというものです。クイズ化のポイントは、「勝負に勝つことを最大の目的」とし、リスニングは勝つための「手段」にしてしまうところにあります。自分たちの班が勝つためにはしっかり聞いて理解しなくてはなりません。すると、生徒は自分からすすんで注意して聞くことを選択し、意味を理解しようとし、楽しく、意味のやりとりができる経験をさせることが、リスニングの苦手意識を払拭する第一歩です。

## リスニングクイズの方法

- 1) クラスを6つの班に分ける
- 2) 黒板にたて5マス、よこ5マスになるよう、碁盤目状の線を書く。
- 3) 各班は自分たちの好きなチーム名と「マーク」の形を選べる。

例 チーム鈴木 …… ○

チーム佐藤 …… ☆

- 4) 各班の代表者1名がそれぞれその場で起立
- 5) 教師がhintを出す

Who is he?

[He is an American, but he is not a human being.]

わからない場合ヒントを出す

[He is over 80 years old, but he has a girlfriend.]

さらにヒントを出す

[He is loved by young children. He has big black ears.]

答え Mickey Mouse

- 6) 生徒は挙手をして早い者勝ちで答える。正解の場合、好きなマスに自分のチームのマークを置ける。答えられなかった他の生徒は着席し、次の生徒が起立する。
- 7) 要はオセロのルールと同じになります。他のチームのマークを自分のチームのマークが挟んだとき、自分たちのマークにできます。最後にマークの数が最も多かったチームが勝ちます。

## リスニング活動のクイズ化の効用

クイズ化のメリットをここで整理しましょう。

- 1) 勝負に勝つことが目的なので、楽しんでまた集中してリスニングが行える。
- 2) 自分たちの常識、経験を総動員して理解しよう

とする前向きな姿勢が出てくる。

- 3) 教師はヒント作りを通じて、語彙やものごとを簡単な英語で説明できるようになる。
- 4) 2～3回やって慣れてきたら、教科書で出てきた単語や表現、人物等に内容をシフトする。
- 5) 最終目標は生徒に既習事項を使ってヒントを考えさせることであり、教師が出すヒントはそのお手本となる。

### クイズ化で留意したい点

#### 1) スタート時期

4月のできるだけ早い段階で導入しましょう。英語で授業をする布石となる活動だからです。

#### 2) ヒントの出し方

教師が出すヒントは、「抽象的なもの」→「すこし具体的なもの」→「とてもわかりやすいもの」という3ステップ方式を使いましょう。このように段階的に出すと、「なんだろう?」と思わせて教室全体を巻き込めます。

#### 3) 時間がないときは

クリスクロス形式で問題を出してあげると比較的短時間ですませることができます。

新出単語の復習のために次のように問題化することが可能です。英英辞書を利用するときは、辞書の説明の通りではなく、わかりやすさを優先して、3つのヒント文に作り替えましょう。

- gene: 1) It is a part of a cell.  
2) It controls how you look like.  
3) People get them from parents.

リスニングクイズは、リスニングへの苦手意識を取り去り、その後の英語授業をスムーズに進めるための先導役を果たすものでした。次はより実践的なトレーニングを念頭に置いた指導を紹介します。

## 2. リエゾンやストレスについて学ばせよう

「サッチャー フィーリン(s) カミノーヴァミー」  
The Carpenters の *Top of the World* の一節です。意味がわからない単語はひとつもないのに音がつながったり、消えたりしたとたんに認識できなくなる言葉があります。英語ではこのように音の変化がよ

く出てきます。ではどうして、このように音に変化する現象がでてくるのでしょうか。理屈がわかれば、自分で練習し、自力で言えるようになる語句もどんどん増えます。まずは理屈を確認しましょう。

### 「音の化学変化のマスターは母音の数がカギ」

英語は母音の数でリズムが決まります。母音が1つなら1拍、2つなら2拍、3つなら3拍です。hat, sat, fat, get, end, strong これらは全部1拍です。日本人は子音のtやdのあとに母音をつけて、ハットオ、サットオ、ゲットオとしてしまう傾向がありますが、そうすると、2拍になってしまいます。これでは英語らしいリズムが失われます。あくまで、母音をつけ加えず、子音は軽く添えて、1拍で発音します。この考え方は2語以上の語句で最も効果を発揮します。how to get to ... なら母音の総数は4つで、指を4つ折る間に発音します。すると、ゲットトウと発音するとリズムが4拍にならないことがわかります。5拍になるのを防ぐために、ゲットウとなります。音声学では同化や脱落などの分類がありますが、まずは「母音の数＝拍数」で読むことを徹底させればよいのです。先ほどの *Top of the world* の一節については、母音の数が9つですから、「9拍で言えるようにしなさい」という指示を出すとうよいと思います。

### 「英語のストレスを体感化、視覚化する」

もう1つの指導のポイントは、強いところは大きく強く、弱いところは小ささと読んで、できる限り強弱のリズムを等間隔に話すことを意識した音読をさせることです。このためには、音読用のスクリプトを用意すると思います。音読用スクリプトには、次のような記号を入れておきます。大きな●は強、小さな●は弱、それと化学変化を示す記号です。子音が消えるように聞こえるところには(t)、音がつながるところには( ) などと書いておきます。

● ● ●     ●     ●     ● ●     ● ●  
In a sense / we've come to our nation's  
● ●     ●     ●     ●  
capital / to cash a check.

リエゾンやリズムの練習という点に限って言え

ば、散文の連続である教科書より、歌やチャンツのほうがお勧めです。これらはリズムをきちんと取めて発音しないと気持ちよく聞こえません。より楽しく効果が高い教材と言えます。したがって、4月の数日間および、月に1度でも練習させることには音声変化や強弱の重要性をすり込むために大きな意味があります。音の化学変化の練習には *Top of the World*、強弱のストレスの練習には *Jazz Chants* の *TWELVE CANS OF TUNA FISH RAG* がお勧めです。

### 3. クイックレスポンスを使おう

自分の知らない単語を聞いてもまったく理解できないと思います。リスニングの練習の前には語彙の練習を入れたほうがよいと思います。語彙をさっと思い出せるようにするための練習としてはクイックレスポンスが優れています。プリントの左側に英語の語句を、右側に日本語を書き、リスト化しておきます。例えば huge という単語を見たり聞いて、間髪おかず「とても大きい」と思い出せればOKです。音声はどんどん進んでしまいます。よって、間髪おかず答えられる必要があります(ただし辞書で確認させたい語の意味はわざと抜いておきましょう)。

- |                         |           |               |
|-------------------------|-----------|---------------|
| 1) huge building        | 巨大な建物     | hu bu         |
| 2) artificial satellite | 人工衛星      | ar sa         |
| 3) a work by the artist | その芸術家の( ) | a wo by th ar |

クイックレスポンスはできれば日一英も練習したほうがよいと思います。なぜなら、英一日は意識は意味に向かいますが、日一英のクイックレスポンスは意識は音の再生に向かうからです。モデルの助けを借りず自力で正しい音を再生できれば、聞こえてきた音の認識力もあがり、結果、リスニング力の向上にも役に立ちます(会話、作文力も Up!)。その際、単語の最初の2文字を書いておくと、ヒントとなり、意味から音が想起しやすくなりますのでオススメです。

さらに、次のように、フレーズごとのクイックレスポンスのプリントを作れば、英文の理解が短時間で済み、たっぷり音読の練習にあてられます。(ただし、必ず節や修飾関係は確認させることが重要で

す。ここをやらないとなんとなく意味を取るという姿勢が定着してしまいます。)

- |  |               |
|--|---------------|
| <input type="checkbox"/> In a sense              | ある( )         |
|  | In a se       |
| <input type="checkbox"/> we've come              | 私達はやってきた      |
|  | we' co        |
| <input type="checkbox"/> to our nation's capital | 私達の国の( )へと    |
|  | to ou na ' ca |
| <input type="checkbox"/> to cash a check.        | ( )を現金化するために  |
|  | to ca a ch    |

授業では意味の理解が終わったところで、フレーズごとに音読の練習に入りますが、最初は教師のあとについてフレーズごと、次にセンテンスごとに忠実に音声変化とストレスを再現させていきます。これができるようになったら、CDを使ってフレーズごとに、次にセンテンスごとに Repeating をさせましょう。特にセンテンスごとの Repeating は、ワーキングメモリーの容量を増やす働きもあり、音の一時保存の能力をあげる働きがあります。音を長時間保持しておくことができれば、理解するのに役立ちます。

音声の練習が一息ついたら、今度は区や節のあとにポーズがついた英文を使い、フレーズごとに皆で意味を言わせていきます。安木(2007)によると「Suzuki(1991,1999)は、日本人高校生を対象に実験した結果、長期間にわたって句や節に1~2秒間のポーズを入れて教材を提示するほうが、ポーズの入っていないものよりも有意に聴解力と理解を伴った READING SPEED が向上する事を実証している」と述べています。ポーズのところで意味をすばやく思い出させ、また、何を? どこで? どうして? と自分でつっこみを入れさせます。こうすると次の語句を迎える準備ができます。このようにして前から順に意味を理解し、頭に保持しながら、次に聞こえてきたものをどんどんつなげて理解していく方法を体得していきます。

### 4. ポーズ付き音声や速音読を使おう

ポーズ+和訳の練習の最後には必ずナチュラルスピードの英文を聞かせます。理由は、音声と意味を融合させるためです。和訳を介在させるとどうして

も処理が間に合わなくなります。和訳を介在させず、直接、概念とつながった音声のカタマリを増やせば、速い音声も聞き取れるチャンスが増えます。

音声の速度が速いと思う教材の場合、速音読(可能なかぎり速く読む音読)をさせるか、あるいは、1.2～1.6倍速程度に速度変換した音声を聞かせ続けてみましょう。そのあと1倍速に戻した音声を聞かせるとゆっくり音声聞こえてきてびっくりすると思います。今まで聞き取れなかった弱音もクリアに聞こえて来ますから、意味の処理だけでなく、音の聞き取りにもよいようです。

これまで述べてきた、対策1～4を繰り返し行うことで、頭の中で音のデータベースができ、音声を捕まえる技能も鍛えられてきます。そうすると、理解や保持などにワーキングメモリーの力を振り分けられるようになり、より余裕をもって長い英文もメモをとりながら聞けるようになります。

## 5. 最後に 振り返り

最後にここまでの内容を振り返ってみましょう。

- ① クイズ化で楽しく英語を聞く分量を増やす
- ② 母音の数が音声変化を理解するかぎである
- ③ 平坦な英語でなく、強弱を意識した音読を
- ④ フレーズのクイックレスポンスで意味をゲット
- ⑤ 聞こえてきた順に理解するにはポーズが重要
- ⑥ 処理速度アップのために速い音声を聞く、話す

レッスン計画を立てる際、参考になさってください。

### おまけ情報 ポーズ付き音声教材の作成方法

英文の任意の位置に、任意の秒数だけポーズを挿入して音声教材を作ることができるソフトがあります。Macを買うと付属してくるApple Scriptです。「アプリケーションフォルダー」→「ユーティリティーフォルダー」から、Apple Script エディターを選び起動します。現れたボックスに、左上から詰めて、以下のスクリプトを打ち込みます。そして実行ボタンを押すと、デスクトップに音声ファイルが現れます。それをダブルクリックすると、iTunesに登録され、聞くことができるようになります。

say "[rate 200] In a sense [[slnc 1200]] we've come [[slnc 1200]] to our nation's capital

[[slnc 1200]] to cash a check." using "Alex" saving to file (((path to desktop) as string) & "I have a dream .aiff")

[[rate 200]] は音声の速度。数字を増やせば速く読み上げられます。[[slnc1200]] はポーズを置きたいところに挿入します。1200で1.2秒だと思われま。Alexは、Macの内蔵英語音声の指定になります。そのあとは、「I have a dreamというファイルを、desktopに、aiff形式で保存せよ」という命令になります。任意の数字、ファイル名にかえたりしてご自分でぜひいろいろ試してみてください。

## 参 考 文 献

- Jazz Chants. Oxford University Press.
- Suzuki, Juichi. (1991) *An empirical study on a remedial approach to the development of listening fluency: The effectiveness of pausing on students' listening comprehension ability*. Language Laboratory, 28, 31-46.
- Suzuki, Juichi. (1999) *An effective method for developing students' listening comprehension ability and their reading speed: An empirical study on the effectiveness of pauses in the listening materials*. In Jungheim, N. O. & Robinson, P.(eds.) *Pragmatics and Pedagogy: Proceedings of the 3rd Pacific Second Language Research Forum*, 2, 277-290.
- 安木真一.(2007)『高校英語教育における名人教師(受験に対応する力とコミュニケーション能力を同時に生徒に身につけさせている教師)の教授方略・授業観・学習観の研究』京都外国語大学博士後期課程第一次諮問論文

(福島県立磐城高等学校教諭)